

医療・介護・こどもの権利保障 福祉など社会保障の拡充を

2025愛知自治体キャラバンが豊田市へ

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三三・四七・七二
毎週一回発行

県内のすべての自治体を訪問し、医療・介護・福祉など社会保障の拡充と、国や県に意見書の提出を求めて要請する2025自治体キャラバン（愛知自治体キャラバン実行委員会主催）が、10月21日、豊田市で要請と懇談を行いました。今年で46回目を迎えます。（事務局は豊田みよし社保協）根本みはる市議も参加しました。



市から事前の文書回答が、ようやく昨年からは出されるようになってきました。これは長年の行動の結果であり、懇談の内容がより充実したものとなりました。

補聴器補助の増額、特定健診に聴力検査を

豊田年金者組合からは、加齢性難聴者の補聴器購入補助の金額について、補聴器は片方でも30万円から40万円かかり、現在の課税世帯で補助額1万5000円（非課税世帯で3万円）を増額し、特定健診に聴力検査を加えてほしい、白内障手術のように保険適用にしてほしい、と要望が出されました。高齢福祉課から、制度を始めてから申請の件数が増えていること、補助額は県内自治体で同じ水準であること、他部局との相談が必要であることが回答されました。

介護事業所支援、保険料の引き下げを

介護サービスを利用する際、下山地域では事業所の数が少ない、遠いなど、同じ介護保険料を払っていても、条件に格差があることへの対応や、介護職員が働き続けられ

るように支援を、との要望が出されました。また、介護保険の保険料引き下げ、保険料段階を現在の13段階から17段階程度に増やして低所得段階の倍率を下げる要望には、国が段階について検討しているという回答がありました。

地域バスの要望、タクシー助成は切実

高齢者の交通の問題では、参加者から、下山地域で足助病院に行くバスが無いため、通院に困っていることや、竹村地域にはバス路線がないため、支所まで自転車です5分かけている、南部に総合病院は開設したが、バスの路線が無くて行けない、みよし市のようにタクシーが安く利用できるようにしてほしいなどの高齢者の声を届けました。

国保税の減免を柔軟に

国保では、岡崎民商や国保制度の改善を求める連絡会が



ら、物価高騰で経費は増え所得が下がる上、インボイスで納税額が増える中、国保税の負担が重い業者の実態から、減免の拡充を求めました。国保年金課から、県内統一化の経緯、独自軽減ができなくなる状況であること、国費の増額の国への意見書を、全国市長会などを通じて提出していることが話されました。上がり続ける国保税の負担軽減は待ったなしです。

生活保護は権利

生活保護では、申請のハードルが高い、市のHPに載せていると言うが、困窮している人には届かない、回覧板で「生活保護の申請は国民の権利です」と紹介している野洲市の例をあげ、ためらわずに申請できるように、申請用紙を1階のロビーに置くことが要望されました。

子どもの権利を保障する 保育の質の向上

「子どもの権利を保障する保育の質の向上」では、こども園を考える会から、保育士配置基準の制度改正で4、5歳児28対1が、25対1にな

（裏面へ続く）

	2010年	2024年
福祉用具の受領委任払い	51%	98%
小学校卒業までの医療費無料	82%	100%
中学校卒業までの医療費無料	51%	100%
18歳年度末までの医療費（通院）無料	2%	87%
18歳年度末までの医療費（入院）無料	2%	100%
高齢者用肺炎球菌ワクチン助成	16%	100%
ロタウイルスワクチン助成	—	100%

つたが、市では来年から4歳児で、再来年に5歳児で実施とすることへの説明を求めました。保育課から、定員の上限まで在園する一部の園で3歳児クラスから4歳クラスになる際、5人が入れず転園する事態となってしまうことや、部屋の空気が無い、との回答がありました。子どもの権利保障の点からも早期の改善が求められます。懇談時間が足りないほど、参加者から多くの要望が出され、市民の声を届ける機会となります。

した。自治体として、国の社会保障費連続削減から市民の命、暮らしを守る立場で、現場で聞こえている声にどう応えていくか、今後の市の姿勢が問われます。

「要望事項を実施した市町村割合の推移」（左上の表）からも、要望が着実に前進してきたことがわかります。

「最悪の政権」の危険性 自民と維新の連立政権発足

臨時国会が21日に召集され、自民党の高市早苗総裁が衆参両院の本会議での首相指名選挙で、第104代首相に選出されました。即日組閣を行い、自民と日本維新の会による連立政権を発足させました。戦後の歴史の中でも最悪の政権となる危険があります。

与党を衆参両院で過半数割れに追い込んだ国民の審判を踏まえれば、この臨時国会でまざるべきは消費税減税であり、裏金問題の徹底追及と企業・団体献金の全面禁止も直ちに進めるべきです。

自民と維新の連立合意書は

あなたの声を聞かせてください

自治体労働者のつどい
11/9(日)13:30~

TKP ガーデンシティ
PREMIUM 名駅西口3F

志位和夫議長を交えた
トーク集会

主催：日本共産党愛知県委員会

こうした政策を棚上げする一方で、▽憲法9条改悪▽医療費4兆円削減など社会保障改悪▽大軍拡の前倒し▽スパイ防止法制定—など、「自民党政治をさらに悪くする悪政のオンパレード」です。

議員定数削減について、▽民意を切り捨てる▽政府監視機能を弱める▽国際的にみても少ない国会議員がさらに少なくなり、政権与党が数の力で悪政推進の突破口として強行するのは許されません。今国会の緊急課題として、議員定数削減反対の一点で、国会内外での広範な共同を呼び掛けていきます。



今月19日、挙母まつりでにぎわう豊田市駅周辺で、19日行動が行われました。高市新総裁が選出されて（当時）いよいよ危険な方向に日本がすすんでいくことに「ストップの声をあげましょう」と訴えました。

- ◆法律相談は弁護士が
第2土曜日 午前10時~12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が応対
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは
日本共産党西三地区委員会まで
電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで
電話 0565-34-4772

無料

法律・生活相談
おこなっています



根本みはる
豊田市会議員



もとむら伸子
衆議院議員



すやま初美
党中央委員